

馬場川通り

ばばっかわどおり

1/2

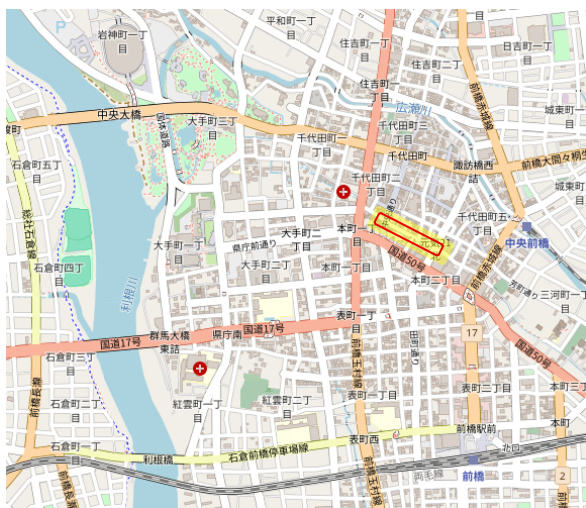
群馬県前橋市

ウォーカブル推進都市

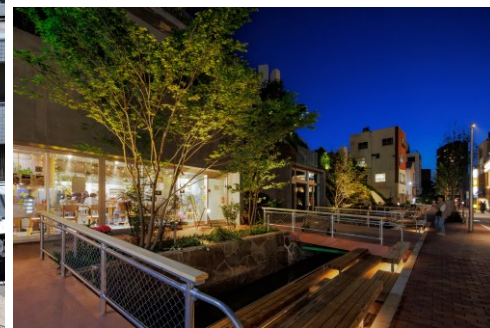
■人口 327,659人

■所在地 群馬県前橋市本町ほか

■路線データ



地図出展：OpenStreetMap



■取組の概要

馬場川通りは前橋市の中心商業地に位置し、前橋中央通りと前橋市が運営する元気21及びアーツ前橋を結んでいる。

典型的なシャッター街となっていた前橋市の中心拠点地区において、官民が連携して秩序あるまちづくりを行うために、官民協働で策定したビジョンの「前橋市アーバンデザイン」に基づいたまちづくりを推進している。

馬場川通りはモデルプロジェクトの一つとして、公共空間（水路、遊歩道〔公園〕、道路）の再整備を民間資金を活用した民間団体が先行、エリアマネジメント団体が維持管理を行っている事例となる。

■ビジョン策定

前橋市は、2016年8月に前橋ビジョン「めぶく。」を策定し、最上位計画である第七次総合計画において基本構想のビジョンに位置付けた。その後、中心市街地における将来ビジョンとして「前橋市アーバンデザイン」を2019年9月に策定し、ビジョンを具現化するモデルプロジェクトの一つとして、馬場川通りの整備を行った。

■地域資源活用

馬場川通りは、道路空間の再配分による利活用をテーマにしたプロジェクト。実施のために発足した準備委員会には、137名の市民が参加した。準備委員会が企画した社会実験などによって、馬場川の水辺空間を活用するアイデアが生まれ、民間主導の整備によって、具現化された。

馬場川通り

ばばっかわどおり

2/2

■都市区分 中核市

■用途地域 商業地域

■路線延長 0.2km

■再整備区間 0.2km

■整備年代

・構想・設計：2021年 4月～2022年7月

・整備(工事)：2022年10月～2024年3月

・利活用：2024年 4月～

■取組が位置づけられている計画、ビジョン等

・前橋市アーバンデザイン（令和元年9月）

■活用した国の施策・制度

・都市再生推進法人の指定

・都市利便増進協定の締結

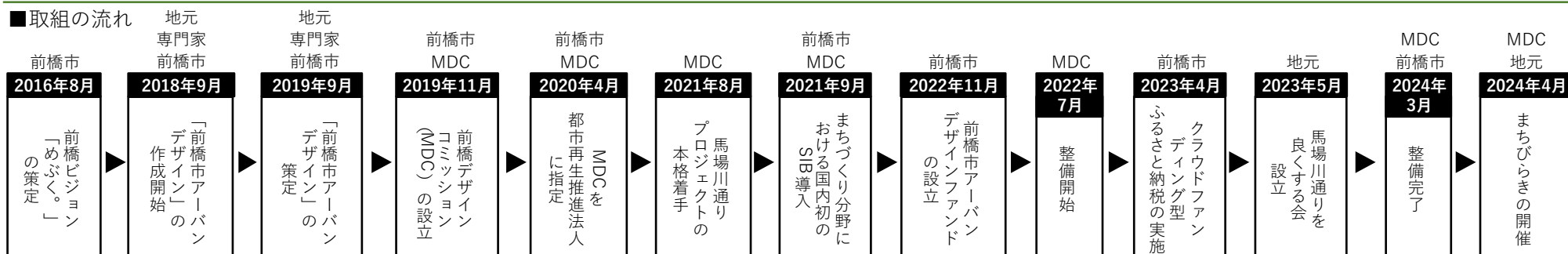
・ソーシャル・インパクト・ボンドの活用

・共助推進型まちづくりファンドの設立

■問い合わせ先

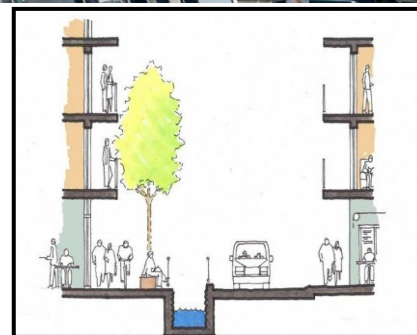
・前橋市 都市計画部 市街地整備課

■取組の流れ



■参照資料

—



■整備主体

・整備（道路空間）：都市再生推進法人
前橋デザインコミッション
【通称：MDC】

・整備（ファサード）：建物所有者

■整備・再構築状況

・車道と歩道の段差を無くし、歩行者が滞留するスペースを確保した。また、水辺との親水性を高めるために、水深の浅い水路の水面に歩道を近づけるといった、景観と安全性に配慮した整備を行った。

■利活用団体

・馬場川通りを良くする会
（構成員：沿道事業者会員、一般市民、MDC）
（支援：前橋市）

■利活用状況

・通りを全面通行止めにして行うイベントを、1年に2回定期的に開催。日常管理は都市利便増進協定に基づいて、沿道事業者や市民が中心となった「馬場川通りを良くする会」が整備後の10年間を担っている。